

2012 年度 小委員会活動成果報告

(2013 年 1 月 30 日作成)

小委員会名	建物の構造振動制御小委員会		主 査 名：池田芳樹 就任年月：2010 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 振動運営委員会		委員長名：中島正愛 主 査 名：福和伸夫
設 置 期 間	2010 年 4 月 ～ 2014 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 初年度：具体的な活動方法を議論、制御技術の情報に対する要望を把握 ・ 2 年度：個別の制御技術を整理、複数の制御技術の併用法と技術の分類方法を整理 ・ 3 年度：開発途上の制御法の把握、制御目標と制御法の関係を整理 ・ 4 年度：刊行物の執筆 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有		
	主査：池田芳樹 (鹿島建設) 幹事：藤谷秀雄 (神戸大学)、山本雅史 (竹中工務店) 委員：五十子幸樹 (東北大学)、片迫幹男 (日本設計)、鎌田崇義 (東京農工大学)、 新宮清志 (日本大学)、高橋治 (構造計画研究所)、辻聖晃 (京都大学)、 長島一郎 (大成建設)、福喜多輝 (清水建設)、古橋剛 (日本大学)、 森田高市 (建築研究所)、山田聖治 (鉄道総合技術研究所)、吉田治 (大林組)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2012 年度予算	180,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 制御装置の適用性、複数の制御装置を併用する考え方、公開資料による東北地方太平洋沖地震時の効果を整理し、3 年度の目標を達成した。 2. 刊行物の執筆を終了し、2013 年度に振動運営委員会と構造委員会の査読を受けられる見通しである。
委員会活動の問題点 ・ 課題	1. 振動制御方法は多様であり、それを統一的に整理することが難しい。 2. 制御効果の公表が進んでおらず、技術検証を正確に把握することが難しい。